

KOSHIGAYA

越谷市中小企業振興計画

- 地域産業がつなぐ未来への挑戦 -



概要版



1 中小企業振興の背景

人口減少や高齢化が進み、経済の縮小が懸念される地域社会にあって、地域産業は経済のグローバル化やデジタル技術の進展および続発する災害など、多くの環境の変化に対応することが求められています。市内中小企業が直面する生産性向上、人材確保などの課題に対応するため、基本的な理念や将来像を定めるとともに、実効的かつ効果的な支援を体系化し策定するものとします。

2 計画期間

令和5年度から令和8年度までの4年間を計画期間とします。

3 市内中小企業が直面する課題

① 地域経済の縮小と新たなビジネスの創出

人口減少に伴って経済規模も縮小する中、地域経済が維持・発展するためには、既存の製品やサービスの多角化による地域企業の活性化や、業態転換を含めた新たな産業の創出が必要です。

② 経営者の高齢化と事業承継

企業経営者の平均年齢は年々上昇を続け、今後も後継者のいない企業は一定の割合で休廃業・解散を余儀なくされると予想されます。持続的な経営に向けた事業承継が大きな課題となっています。

③ 労働人口の減少と雇用・人材の確保

生産年齢人口が減少していく中、従業員の確保は企業経営の重要課題といえます。多様な人材の確保・育成、従業員のリスクリングなどが求められます。

④ 販路拡大と新市場開拓

中小企業が競争力を高めるには、付加価値の高い製品・サービスの開発とあわせて、ICTを活用した新規取引先の開拓や成長が見込まれる新たな事業分野への挑戦が求められます。

⑤ デジタル化の加速

デジタル化にどのように対応するかは喫緊の経営課題となっています。今後も競争力を維持、強化していくためには、DXを推進していくことが求められます。

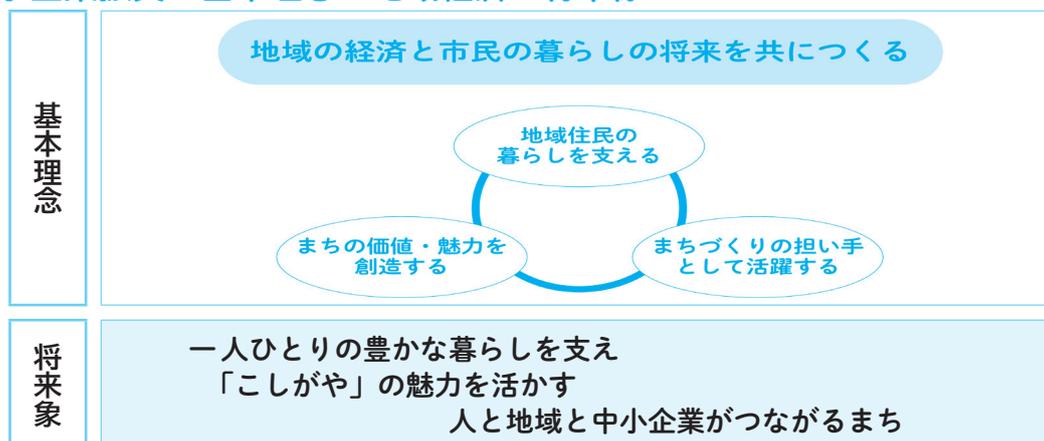
⑥ 不確定な状況への対応

国内外の政治的・社会的要素、並びに災害的要素のほか、消費者行動に関する価値観の変容など、不確定な状況に対応するため、中小企業は従来以上に精度の高い経営判断が求められます。

⑦ SDGsとカーボンニュートラルへの対応

地域経済の持続可能な発展や地球温暖化などの社会課題に対して、中小企業においても企業の社会的責任を果たすことが求められており、企業のより具体的な取組みが必要となっています。

4 中小企業振興の基本理念と地域経済の将来像



5 中小企業振興の目標

目標1 創業しやすいまち

創業による新たな価値やサービスの提供は地域の成長につながります。創業機運を高め、新事業を立ち上げるプレイヤーを発掘するとともに、チャレンジできる環境を整備します。

目標2 継ぎやすいまち

市内中小企業は経営者の高齢化や後継者の確保が課題になっています。行政・経済団体・金融機関・その他支援機関との連携を強化し、包括的な支援体制を構築します。

目標3 働きやすいまち

企業が地域内で雇用を確保できるよう支援します。また、女性や高齢者、障がい者など多様な働き手が活躍できる雇用環境の整備を進めます。

目標4 中小企業が元気なまち

新たな技術や消費者ニーズに対応した製品・サービスを生み出して高付加価値化を図るとともに、変化する経営環境に対応するための経営革新を推進します。

目標5 未来につながるまち

DX推進の理解と機運を高めるとともに人材育成を支援し、変革への取組みを推進します。中小企業と地域のつながりを強化し、まちづくりの担い手として社会的価値の向上を図ります。

6-1 推進する視点

視点1 持続可能な地域を目指す魅力的なまちづくりと中小企業の活性化

市内中小企業の優れた製品やサービスを地域経済のブランディングにつながる地域資源としても捉え、産業分野と住民の距離を近づけることで、まち全体の魅力の向上と地域経済の活性化を図ります。

視点2 地域内経済循環を目指す中小企業の連携拡大

地域の企業同士をはじめ、金融機関、教育機関、商店会など地域社会を構成する団体が連携を拡大し、産業ネットワークによる新たなイノベーションやにぎわいの創出、労働力の確保を実現します。

6-2 重点施策

重点施策1 『仕事おこしのまち・越谷』をつくる

様々な創業ニーズに対応したセミナーを開催し、創業者の発掘に取り組みます。創業の種を蒔き、育てることで地域経済の担い手を増やし、地域経済全体の新陳代謝を進めます。

重点施策2 『女性が活躍するまち・越谷』をつくる

女性が多様な働き方で活躍できるよう市内中小企業の取組みを支援します。また、リスクリソグや柔軟な働き方ができる職場環境の整備に取り組みます。

重点施策3 『DX推進に取り組むまち・越谷』をつくる

市内中小企業が複雑化する経営環境に対応するため、デジタル技術を活用した既存業務の構造的な見直しを推進します。また、それぞれの段階に応じた必要な取組みができる環境を整備します。

7 目指す方向性と施策の体系

目標1 創業しやすいまち

(1) 創業の担い手を発掘し、育成する

創業についての基礎的な知識の習得、女性の創業についての課題の解決、創業の準備など、様々なニーズに対応した各種セミナーを開催します。

＜事業・取組み＞ 創業支援セミナー

(2) 創業を支援する

市内での創業に関する課題解決やビジネスプランの策定を支援するとともに、初期費用の一部を補助します。また、創業後の安定経営に向けた継続的なサポートを行います。

＜事業・取組み＞ 創業者支援補助金

目標2 継ぎやすいまち

(1) 事業承継の包括的な支援体制を構築する

事業承継に関する情報提供を行い、持続的な経営計画による承継の準備・対策を支援します。関係団体・支援機関との連携を強化し、地域全体としての包括的な支援体制を構築します。

＜事業・取組み＞ 事業承継への支援

目標3 働きやすいまち

(1) 市民の就職に向けたスキルアップを図る

若年者からシニア世代、女性など幅広く、就職に関する能力向上を図る各種セミナーを開催します。また、関係機関と連携し、市内中小企業と地域の人材をつなげる機会を創出します。

＜事業・取組み＞ 職業能力開発支援事業

(2) 多様な働き手が活躍できる環境を整備する

若年者からシニア世代、女性など多様な働き手が市内中小企業等で働けるよう、相談事業の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化します。

＜事業・取組み＞ 若年者等就業支援事業／内職相談・労働相談／高齢者就業支援事業

目標4 中小企業が元気なまち

(1) 中小企業の経営課題を解決する

中小企業向けの経営相談窓口である「ビジネスサポートセンターこしがや」において、中小企業診断士等の専門家を配置し、経営課題の解決を支援します。

＜事業・取組み＞ ビジネスサポート事業

(2) 中小企業の新たな取組みを支援する

生産性向上や販路拡大など、新たな取組みに係る経費の一部を補助することで、市内中小企業の経営革新や事業転換の取組みを支援します。

＜事業・取組み＞ ビジネスパワーアップ補助金

(3) 地域内の需要と供給をつなげる

市民の需要を喚起し、その需要を市内中小企業の供給につなげることで、市民生活の向上と事業者の受注機会の拡大を図ります。

＜事業・取組み＞ 住宅・店舗改修促進事業

(4) 中小企業の地域内連携を強化する

市内中小企業と地域の経済団体、金融機関、支援機関、その他の関係団体との連携を強化し、包括的な支援体制を構築します。また、越谷商工会議所が実施する各種事業を支援します。

＜事業・取組み＞ 商工会議所補助事業

(5) 中小企業の事業拡大を支援する

業種間連携による販路開拓や海外展開など、市内中小企業の事業拡大を推進します。

＜事業・取組み＞ 埼玉東部工業展開催事業／ジェトロ埼玉との連携

目標5 未来につながるまち

(1) 経営課題や取組み状況に応じたデジタル技術の活用を支援する

社会経済の急速な変化に対応し、将来に向けた強い経営に変革するため、市内中小企業が直面する課題に応じたDX支援の充実を図ります。

＜事業・取組み＞ DX推進

(2) 地域資源の活用とにぎわいの創出を推進する

市民の生活を支えるとともに、コミュニティ活動の場としても貢献している地域商業の拠点（商店街等）を支援します。また、魅力ある地域資源として伝統的地場産業の振興を図ります。

＜事業・取組み＞ 商店街活性化推進事業／地域商業活性化事業／伝統的地場産業育成支援事業

(3) 不確実な状況への対応とレジリエンスの強化

不確実性の中でも安定的な経営を維持できるよう、事業継続計画の策定支援など市内中小企業のレジリエンス強化を支援します。また、経営基盤の安定化を図るために必要な金融支援を行います。

＜事業・取組み＞ 中小企業資金融資事業

(4) 新たな企業立地・企業誘致の推進を図る

本市の立地条件の特性を活かし、新たな企業立地や企業誘致に向けた支援制度の検討を進めます。

＜事業・取組み＞ 企業立地支援事業

(5) 中小企業の魅力と社会的価値の向上

優れた技術・製品・サービスを提供するとともに、地域課題の解決に取り組む市内中小企業の魅力を発掘・発信します。また、地域と連携してまちづくりに取り組む市内中小企業を支援します。

＜事業・取組み＞ 地域企業プロモーション事業／こしがや産業フェスタ負担金

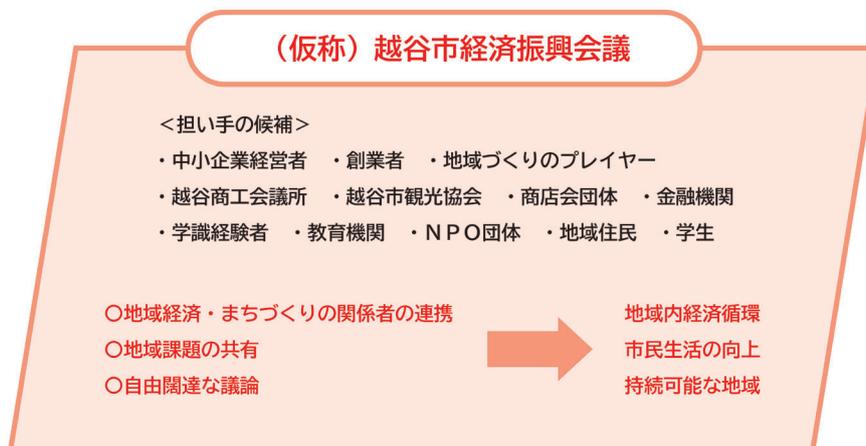
8-1 推進体制 <関係者の役割>

越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業振興が地域経済の発展と豊かな市民生活につながるよう、関係者の理解と相互協力が得られるよう取り組みます。 ・ 本計画に基づく施策に積極的に取り組み、進捗管理を行うとともに、必要な財政措置を講じます。 ・ 中小企業振興に必要な関係者とのネットワークづくりに取り組み、経済主体を中心とした連携の仕組みをつくります。
中小企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営環境の変化に対応し、創意工夫による経営基盤の強化や経営の革新に取り組みます。 ・ 多様な働き手が活躍できる場として、人材の活用・育成と雇用環境の充実を図ります。 ・ 地域社会を構成する一員として環境経営や地域貢献に取り組み、中小企業の魅力と社会的価値を高めます。
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業が地域経済の発展と市民生活の基盤を支えていることを理解し、その健全な発展に協力します。 ・ 地域の産業や身近な中小企業は、多様な働き手の活躍の場であることへの理解を深めます。 ・ 市内の製品やサービスおよび地消地産への理解を深めます。
関係機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会議所や業種組合などの経済団体は、中小企業支援に関する事業を推進します。 ・ 市内の大企業は、中小企業との連携を図り、地域経済全体の活性化を推進します。 ・ 大学、高校等の教育機関は、地域の人材が中小企業で活躍する機会を増やせるよう連携を図ります。

8-2 (仮称)越谷市経済振興会議

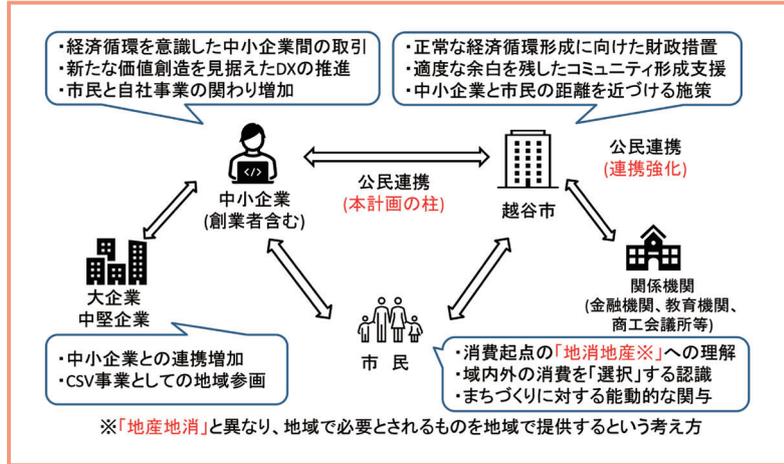
地域の持続可能な発展を目指す官・民のつながり、民間企業同士のつながり等により、地域資源を活用した新しい価値や地域内の経済循環が生まれます。

市内中小企業を中心に、地域経済のけん引や中小企業の振興並びにまちづくりについて自由で率直な意見交換をすることで、地域の経済や産業をはじめ、多岐に渡る地域課題を共有し、解決の方向性を検討していきます。



9 越谷モデルへの挑戦

<関係者の役割(推進体制イメージ)>



中小企業、行政、市民などが経済主体として連携し地域内でネットワークを形成します。ネットワークを活用した経済活動により、地域内に雇用と所得が生まれます。

© 作成者「らしく株式会社・税理士 堀哲郎」

POINT①

地域内で経済が再生産され、再び地域に再投資することにより、地域の価値として還流することができます。

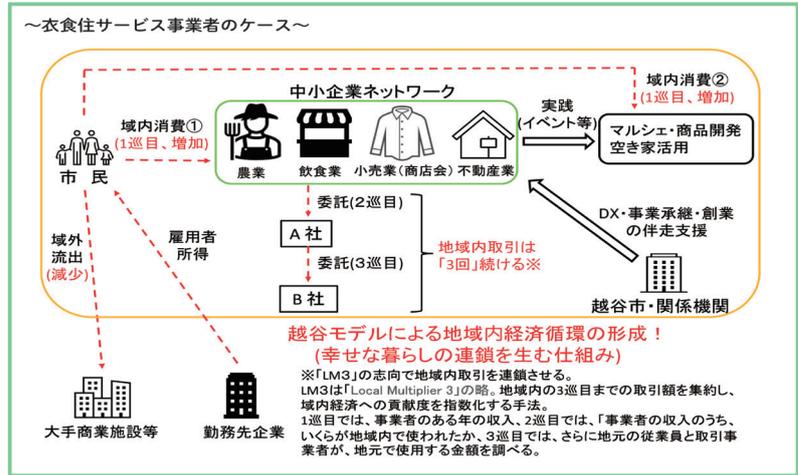
POINT②

地域経済が循環することにより、中小企業、市民、行政など多様な地域の関わりをつくれます。

POINT③

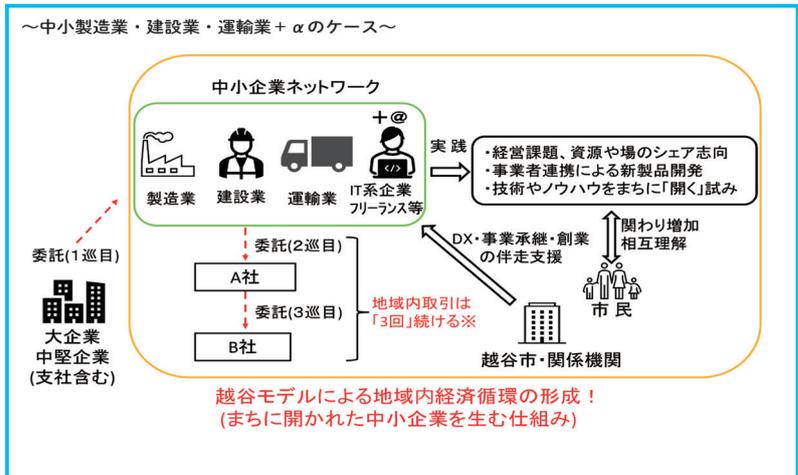
サービス事業者、製造業など業種による特性を考慮して2種類の好循環構造をイメージしました。

<好循環構造イメージ①>



© 作成者「らしく株式会社・税理士 堀哲郎」

<好循環構造イメージ②>



© 作成者「らしく株式会社・税理士 堀哲郎」

